

横浜市難聴者補聴器購入費助成金交付申請書兼実績報告書

年 月 日

横浜市長

横浜市難聴者補聴器購入費助成事業実施要綱に基づき、次のとおり難聴者補聴器購入費助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請、報告いたします。

なお、補助金の交付を受けるにあたっては、横浜市補助金等の交付に関する規則及び横浜市難聴者補聴器購入費助成事業実施要綱を遵守します。

1 申請、報告内容

(太枠内を記入してください(身体障害者手帳(聴覚障害)の交付、課税状況についてはどちらかに○をつけてください))

(補聴器利用者) 申請者	住所	〒 横浜市 区	電話	()	
	ふりがな		生年月日	大正・昭和 () 年 月 日 (歳)	
	氏名				
	身体障害者手帳(聴覚障害)の交付について ※「なし」の方のみ助成の対象となります。			なし ・ あり	
	世帯全員の市民税課税状況について ※世帯員のうち、一人でも課税の方がいる場合は対象となりません。 ※「非課税」の方のみ助成の対象となります。 ※当市に税情報がない場合は、非課税証明書が必要です。			非課税 ・ 課税	
申請金額(20,000円と補聴器購入金額の低い額)				円	

2 同意事項(申請にあたり、次のことに同意します)

- 補聴器購入に伴う聞こえや生活状況の変化等についてのアンケート(装用前・装用後)に回答すること。
- 申請者の要件確認のため、住民登録資料、市民税課税状況及び身体障害者手帳(聴覚障害)取得状況その他必要な事項について市が確認(調査)すること(このことについて、世帯全員に同意を得ている。)
- 横浜市暴力団排除条例第8条に基づき、暴力団員でないことを確認するため、本様式に記載された情報について市が神奈川県警察本部長に照会すること。

3 添付資料(以下の資料を同封の上、チェックを入れてください)

- 横浜市難聴者補聴器購入費助成事業にかかる医師意見書
- 補聴器を購入した日付、購入費用がわかる領収書等の写し
- 補聴器装用前アンケート(電子申請システムで回答した方は除く)
- 非課税証明書(世帯員のうち、横浜市に税情報がない方のみ)

市役所記載欄

年齢要件	<input type="checkbox"/> 50歳以上 <input type="checkbox"/> 49歳以下	障害者手帳	<input type="checkbox"/> 交付なし <input type="checkbox"/> 交付あり <input type="checkbox"/> 交付対象
課税要件	<input type="checkbox"/> 非課税 <input type="checkbox"/> 課税	審査結果	<input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 不交付
受領印		管理番号	

横浜市難聴者補聴器購入費助成事業にかかる医師意見書

【本人記入欄】

ふりがな 氏名		生年 月日	大正・昭和 年 月 日
住所	〒 横浜市 区	電話	()

【医師意見欄】

聴覚の状況および所見

1 4分法による聴力レベル

右	聴力レベル	dB
	難聴の種類	感音難聴・伝音難聴・混合難聴
左	聴力レベル	dB
	難聴の種類	感音難聴・伝音難聴・混合難聴

2 補聴器装用を要する耳：両耳・右耳・左耳
※○をつけてください。

3 所見
上記の難聴者に補聴器が必要であると認める。
※4分法により両耳とも30dB以上70dB未満を基準としています。
※30dB未満でも補聴器が必要な場合は理由を最下部に記載してください。

日付： 年 月 日

医療機関名：

所在地：

医師名：

※以下は該当がある場合のみ記載

- ・30dB未満の場合
理由： _____
- ・補聴器装用について医師意見書作成前に補聴器相談医が相談を受けていた場合
補聴器装用について相談を受けた日付： 年 月 日

「横浜市難聴者補聴器購入費助成事業」申請の方へアンケートのお願い

補聴器を使用する前の聞こえの状況や暮らしについて、できるだけ思い出して記入してください

ご回答いただいた内容は、医療政策の検討・改善に使用します。また、個人が特定されることが無いよう、集計表形式以外では公表しません。

※このアンケートへご回答いただくことは助成申請に必要です。

※補聴器装用から約3か月後を目安に回答いただくアンケート用紙を郵送にて改めてご案内する予定です。そちらへの回答もお願いします。

原則、電子フォームでの回答をお願いしています。

→右記二次元コードより回答をお願いします。

電子フォームが利用できない場合は、この用紙の中面にて回答を行い、申請書類へ同封の上、郵送にて提出をお願いします。



↑電子フォーム

【お問い合わせ先】

横浜市医療局医療政策課

担当 松浦・尾崎

TEL045-671-4872

アンケート回答日（ 年 月 日）

氏名（ ）性別（ ）年齢（ 歳）

家族構成（○をつけてください） ひとり世帯 ・ ふたり世帯 ・ 3名以上世帯

ご自身にあてはまるものに「○」をそれぞれ1つずつ、つけてください。

1. この補聴器購入費助成事業の申請前から難聴と診断されていませんか。

はい ・ いいえ

2. これまでに補聴器を利用したことがありますか。（集音器のみある場合はいいえを選択）

はい ・ いいえ

3. この補聴器購入費助成事業が、補聴器購入のきっかけになりましたか。

新規購入のきっかけになった ・ 買換えのきっかけになった ・ いいえ

4. この事業をどのようにして知りましたか。（この問のみ複数選択可）

横浜市のホームページ、医療機関でのポスター、広報よこはま、
家族・友人・知人からの紹介、その他（ ）

5. 聞こえにくさのために、家族や友人と話す回数が減ったと感じることはありますか。

まったく 感じない	あまり そう感じない	ときどき そう感じる	よくそう感じる	いつも そう感じる
--------------	---------------	---------------	---------	--------------

6. 聞こえにくさのために、人とかかわるよりも、一人でいるほうが楽だと感じることはありますか。

まったく 感じない	あまり そう感じない	ときどき そう感じる	よくそう感じる	いつも そう感じる
--------------	---------------	---------------	---------	--------------

7. あなたは、家族以外の友人・知人と、どのくらいの頻度での交流を「理想」としていますか。

毎日	2、3日 に1回	4、5日 に1回	1週間に 1回程度	2週間に 1回程度	月に 1回程度	交流しなく てよい
----	-------------	-------------	--------------	--------------	------------	--------------

8. あなたは、過去1か月間、「実際」には、家族以外の友人・知人とどのくらいの頻度で交流ができていますか。

毎日	2、3日 に1回	4、5日 に1回	1週間に 1回程度	2週間に 1回程度	月に 1回程度	交流してい ない
----	-------------	-------------	--------------	--------------	------------	-------------

9. 現在（補聴器を装用していないとき）、日常生活のさまざまな場面で、どのように聞こえますか。次のページ、A~Jの各項目の選択肢から当てはまるものを1つだけ選び、○で囲んでください。*経験しなかったものは、左端の「経験なし」に○をしてください。

A 静かな所で、家族や友人と1対1で向かいあって会話をする時、聞き取れる

経験なし	いつも	聞き取れる	半々ぐらい	聞き取れない	いつも
	聞き取れる	ことが多い		ことが多い	聞き取れない
	1	2	3	4	5

B 家の外のあまりうるさくないところで会話する時、聞き取れる

経験なし	いつも	聞き取れる	半々ぐらい	聞き取れない	いつも
	聞き取れる	ことが多い		ことが多い	聞き取れない
	1	2	3	4	5

C 買い物やレストランで店の人と話す時、聞き取れる

経験なし	いつも	聞き取れる	半々ぐらい	聞き取れない	いつも
	聞き取れる	ことが多い		ことが多い	聞き取れない
	1	2	3	4	5

D うしろから近づいてくる車の音が、聞こえる

経験なし	いつも	聞こえる	半々ぐらい	聞こえない	いつも
	聞こえる	ことが多い		ことが多い	聞こえない
	1	2	3	4	5

E 電子レンジの「チン」という音など、小さな電子音が、聞こえる

経験なし	いつも	聞こえる	半々ぐらい	聞こえない	いつも
	聞こえる	ことが多い		ことが多い	聞こえない
	1	2	3	4	5

F うしろから呼びかけられた時、聞こえる

経験なし	いつも	聞こえる	半々ぐらい	聞こえない	いつも
	聞こえる	ことが多い		ことが多い	聞こえない
	1	2	3	4	5

G 人ごみの中での会話が、聞き取れる

経験なし	いつも	聞き取れる	半々ぐらい	聞き取れない	いつも
	聞き取れる	ことが多い		ことが多い	聞き取れない
	1	2	3	4	5

H 4~5人の集まりで、話が聞き取れる

経験なし	いつも	聞き取れる	半々ぐらい	聞き取れない	いつも
	聞き取れる	ことが多い		ことが多い	聞き取れない
	1	2	3	4	5

I 小声で話された時、聞き取れる

経験なし	いつも	聞き取れる	半々ぐらい	聞き取れない	いつも
	聞き取れる	ことが多い		ことが多い	聞き取れない
	1	2	3	4	5

J テレビのドラマを、周りの人々にちょうどよい大きさに聞いている時、聞き取れる

経験なし	いつも	聞き取れる	半々ぐらい	聞き取れない	いつも
	聞き取れる	ことが多い		ことが多い	聞き取れない
	1	2	3	4	5